



アイデアツ異文化・比較文化研究所  
Halbgasse 16/17  
1070 Vienna, Austria

#### アイデアツ異文化・比較文化研究所について

アイデアツ研究所は、2005年10月にオーストリアのウィーンに設立された異文化間の比較研究をおこなうための学術研究所（非営利団体）です。

アイデアツ研究所は、異文化研究に関心を持つ、様々な国の学術研究者が、お互いの研究内容や情報の交換をする「知の交流」の場をウィーンにおいて提供します。

アイデアツ研究所では、これまでに既に研究基盤が確立している、西ヨーロッパ、北アメリカ、日本など「北側」諸国の研究だけではなく、とりわけ、アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの「南側」<sup>\*1</sup> 諸国の研究に重点を置いています。

アイデアツ研究所は、上記のような研究に関心を持つ、学術研究者やグループ、あるいは学術研究を志す学生に対する支援をおこないます。

#### 設立の動機

アイデアツ研究所を設立した動機は以下のようなものです。

- ・従来の学問研究は、学問研究の中心に位置する「先進工業諸国」とその周辺に位置する、いわゆる「発展途上国」というアンバランスな関係においてなされてきた。

- ・今日の社会が考えるべき重要な事柄の大部分は（例えば、経済危機、大きな危険をはらんだテクノロジーの支配、「2001年9月11日」事件以後の国際社会の政治的バランス、など）、地球的な規模の問題をはらんでいる。

- ・ヨーロッパ社会に関わる重要テーマについては（例えば、ヨーロッパ社会の自己理解、あるいは、非ヨーロッパ諸国や文化のヨーロッパ社会に対する関係をヨーロッパ社会が緊急に意識改善する必要性など）、確かに、ヨーロッパ社会にだけその解決が求められている問題ではあるが、同時にヨーロッパ社会という境界を越えて議論すべき問題でもある。

#### 研究の概要

アイデアツ研究所は、現代社会が抱えるさまざまな問題に関して、文化交流的・学際的な学術交流の仲介者としての役割を担います。

アイデアツ研究所では、現在、以下のような研究を発展させることを検討しています。

##### 1. 文化交流的な観点から見た現代社会とテクノロジー、その影響について

現代社会とテクノロジーに対する認識を、さまざまな文化的な立場からの解釈、という観点において考察していきます。

## 2. 「グローバル化」という要求に対する市民社会の反応の多角的・比較文化的考察

ますますネットワーク化が促進されている「世界」における市民社会の役割を、特に、下位にあると見なされている「南側」諸国の非政府組織と、その「北側」諸国に対する関係という観点から分析し、考察する。

アイデアツ研究所は、学際的な学問的議論を促進する研究所として、こうしたテーマに関する議論を深めていきます。こうした議論は、その議論に参加する研究者の出身国においてだけでなく、オーストリアにおいて行なわれることによって、より興味深いものになるでしょう。また、こうした議論に、芸術家が参加したならば、それは、より活性化したものになると思います。

アイデアツ研究所では、地球規模で問題とされているテーマに関して、その諸問題を新しい視野において眺める方法が必要であると考えます。また、そうした方法を見いだしたいと考えています。アイデアツ研究所では、従来、学問的な領域では、見逃されてきた「南側からの声」に特に注目していきます。

こうした地球規模におけるテーマをめぐる論議が、それに従事する研究者たちの出身国はもちろんのこと、ここオーストリアでなされることによって、それはヨーロッパ社会にも拡大していくことになり、より大きな領域のもとでさらなる展開を持っていくものになると思います。

常任研究員

**ヨハネス・メルク(Johannes Maerk)**

アイデアツ研究所代表。メキシコのBaja California Sur大学で哲学を、メキシコシティのIntercontinental大学で文化史を専攻。文学博士。メキシコ、スペイン、ジャマイカ、カナダ、ポーランドに研究滞在。1997年以来、メキシコのQuintana Roo大学で教鞭を執っている。主著、『ラテンアメリカ的な認識論は存在するか?』(Existe una epistemología latinoamericana?) (共著)、『民主主義をどのようにして民主化するか?』(Como democratizar la democracia?)。

**クリスティアン・ズーフィー(Christian Suchy)**

インスブリュック大学で哲学を専攻。文学修士。現在、ウィーンとニカラグアを拠点として、ニカラグアの図書館設立プロジェクト([www.bibliobus.edu.ni](http://www.bibliobus.edu.ni))に従事している。また、Augustin Souchy 資料館の設立を企画中である。

研究相談

アイデアツ研究所では、以下の研究所および研究者の協力を得て、研究に関する相談や助言を行なっています。

Ian Angus, Simon Fraser University, Vancouver, Canada.

Ian Boxill, The University of The West Indies, Mona, Jamaica.

Holger Henke, Metropolitan College of New York, USA.

Thomas Kesselring, Universität Bern, Switzerland.

<sup>11</sup> ここで言う「南側」とは、主として、アフリカ・アジア・ラテンアメリカ諸国の国々を指している。それに対して、「北側」とは、ヨーロッパ、北アメリカ、日本、オーストラリア、ニュージーランドを指す。もちろん、こうした区分は、政治的・社会的現状をきわめて単純化したものであり、ここでは単に状況を説明するために便宜的に用いているだけである。